

令和 4 年 6 月 21 日現在

機関番号：82612
 研究種目：若手研究(B)
 研究期間：2017～2021
 課題番号：17K13214
 研究課題名(和文) 妊娠中からの児のアレルギー疾患予防ヘルスリテラシー教育プログラムの開発と評価

研究課題名(英文) Education Program of Health Literacy for Pregnant to Prevent Allergy of Children

研究代表者
 山本 貴和子 (Yamamoto-Hanada, Kiwako)

国立研究開発法人国立成育医療研究センター・アレルギーセンター・医長

研究者番号：40725115

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円

研究成果の概要(和文)：アレルギーに関するオンラインマタニティクラスを実施した。98%の妊婦は生まれてくる子どもがアレルギー発症することを心配していた。全ての参加者は教室内容が役立ったと回答し、今後、このようなマタニティクラスが普及して欲しいと回答しました。論文は、アメリカ臨床アレルギー免疫学会の公式国際英文雑誌Journal of Allergy and Clinical Immunology: Globalに掲載された。アレルギー中心拠点病院事業に一貫として、定期的にオンラインアレルギーマタニティクラスを実施しており、社会実装につなげた。

研究成果の学術的意義や社会的意義
 国が定めるアレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針でも妊婦に対する適切な指導やアレルギー発症予防を勧奨した対応が求められている。今回の調査で、アレルギーマタニティクラスは妊婦に役立つと考えられた。研究から明らかとなった科学的根拠を一般社会へ普及と実装し、今後マタニティクラスなどでアレルギーに関する教育が普及することが期待される。

研究成果の概要(英文)：We evaluated the usefulness of an online childbirth preparation class about prevention and early detection of allergic diseases in offspring. An online allergy class for pregnant mothers was provided at the hospital in Tokyo. We conducted an online survey about allergy topics before and after the online childbirth preparation class. A total of 106 pregnant women attended the online allergy class, and 92 (86.8%) responded to the online survey. Of the respondents, 90 (97.8%) were worried about the development of allergies in their children. The topic that attracted the most attention in the lecture was the prevention of atopic dermatitis by means of skin care. All mothers believed that the class was useful, the information should be disseminated to the public, and the practices should be implemented. In online childbirth preparation classes, information about allergy based on dissemination and implementation science could strengthen allergy literacy among pregnant women.

研究分野：アレルギー

キーワード：予防 社会実装 アレルギー 小児 ヘルスリテラシー

1. 研究開始当初の背景

エコチル調査から約半分の父親と母親はアレルギーの既往があることが明らかになった。生まれてくる子どもの多くはアレルギー体質を持っていることが示唆されている。

Yamamoto-Hanada K, et al. World Allergy Organ J. 2017 Aug 7;10(1):24.

以前実施した保護者対象としたアンケート調査では、81%の保護者が妊娠中のアレルギーマタニティクラスがあれば参加したかったと回答していた。

Yamamoto-Hanada K, et al. Ann Allergy Asthma Immunol. 2020 Feb;124(2):198-200.

アレルギーに関心や心配がある妊婦は多いと考えられますが、科学的根拠のない情報に振り回されている可能性がある。

2. 研究の目的

オンラインアレルギーマタニティクラスの有用性について評価する。

3. 研究の方法

【対象】2021年1月から2021年8月の8か月間にオンラインアレルギーマタニティクラスに参加した妊婦106名（アンケート回答者は92名）

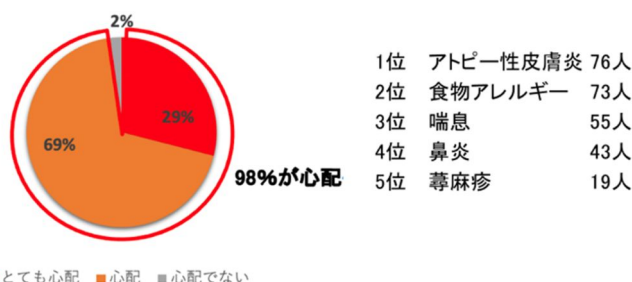
【教室】月に1回 アレルギー専門医によるオンラインクラスを実施

【調査方法】アレルギーマタニティクラス前後で、アレルギー疾患、予防に関するアンケート調査を実施

4. 研究成果

- ・ 98%の妊婦が生まれてくる子どもがアレルギーになることを心配していた。
- ・ 一番心配なアレルギー疾患はアトピー性皮膚炎で、2番目は食物アレルギーだった。
- ・ ステロイドに対する知識も改善した。
- ・ 食物アレルギーを予防するには離乳食そのものの開始を遅らせた方が良いという質問に「わからない・そう思う」と回答した妊婦は30%いた。
- ・ すべての妊婦が、教室が役立ったと回答し、このようなアレルギーに関するマタニティクラスが普及することを望んでいた。

生まれてくる子がアレルギーになるかどうか心配ですか？



- ・ 国が定めるアレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針でも妊婦に対する適切な指導やアレルギー発症予防を勧奨した対応が求められている。
- ・ 今回の調査で、アレルギーマタニティクラスは妊婦に役立つと考えられた。研究から明らかとなった科学的根拠を一般社会へ普及と実装し、今後マタニティクラスなどでアレルギーに関する教育が普及することが期待される。

【発表論文情報】

・ 著者: 犬塚祐介¹、山本貴和子¹、齋藤麻耶子¹、赤石理奈²、春名めぐみ³、松原愛³、

左合治彦²、大矢幸弘¹

・所属:¹国立成育医療研究センター アレルギーセンター

(国のアレルギー疾患対策中心拠点病院)

²国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター

³東京大学大学院医学系研究科 母性看護学・助産学分野

・題名: Dissemination of atopic dermatitis and food allergy information to pregnant women in an online childbirth preparation class.

・掲載誌: *Journal of Allergy and Clinical Immunology: Global* 2022; 1(1): 24-6.

URL: <https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2772829321000059>

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計7件（うち査読付論文 5件/うち国際共著 4件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Miyaji Yumiko, Yang Limin, Yamamoto-Hanada Kiwako, Narita Masami, Saito Hirohisa, Ohya Yukihiro	4. 巻 8
2. 論文標題 Earlier aggressive treatment to shorten the duration of eczema in infants resulted in fewer food allergies at 2 years of age	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Journal of Allergy and Clinical Immunology: In Practice	6. 最初と最後の頁 1721 ~ 1724.e6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaip.2019.11.036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Irahara Makoto, Yamamoto-Hanada Kiwako, Yang Limin, Saito-Abe Mayako, Sato Miori, Inuzuka Yusuke, Toyokuni Kenji, Nishimura Koji, Ishikawa Fumi, Miyaji Yumiko, Fukuie Tatsuki, Narita Masami, Ohya Yukihiro	4. 巻 15
2. 論文標題 Impact of swimming school attendance in 3-year-old children with wheeze and rhinitis at age 5 years: A prospective birth cohort study in Tokyo	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 0234161 ~ 0234161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0234161	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 Miyagi Yoshitsune, Yamamoto-Hanada Kiwako, Ogita Hiroya, Kiguchi Tomoyuki, Inuzuka Yusuke, Toyokuni Kenji, Nishimura Koji, Irahara Makoto, Ishikawa Fumi, Sato Miori, Saito-Abe Mayako, Miyaji Yumiko, Kabashima Shigenori, Fukuie Tatsuki, Nomura Ichiro, Ohya Yukihiro	4. 巻 8
2. 論文標題 Avoidance of Hen's Egg Based on IgE Levels Should Be Avoided for Children With Hen's Egg Allergy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Pediatrics	6. 最初と最後の頁 583224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fped.2020.583224	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 山本貴和子、大矢幸弘	4. 巻 74
2. 論文標題 アレルギー炎症の制御とそのメカニズム 乳児アトピー性皮膚炎患者における食物アレルギー発症予防研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊臨床免疫・アレルギー科（臨床免疫・アレルギー科）	6. 最初と最後の頁 282-287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiwako Yamamoto-Hanada, Yukihiro Ohya, et a.	4. 巻 124
2. 論文標題 Prenatal visits for allergy prevention	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Ann Allergy Asthma Immunol	6. 最初と最後の頁 198-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anai.2019.11.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 山本貴和子	4. 巻 78
2. 論文標題 研究や活動を通してアレルギー予防に成功した事例の紹介 アレルギー予防に成功した 国立成育医療研究センターの事例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 小児保健研究	6. 最初と最後の頁 584-587
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yusuke Inuzuka, MD Kiwako Yamamoto-Hanada, MD, PhD Rina Akaishi, MD Megumi Haruna, RNM, PhD Manami Matsubara, RNM, MHSc Mayako Saito-Abe, MD, PhD Haruhiko Sago, MD, PhD Yukihiro Ohya, MD, PhD	4. 巻 1
2. 論文標題 Dissemination of atopic dermatitis and food allergy information to pregnant women in an online childbirth preparation class	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology: Global	6. 最初と最後の頁 24-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jacig.2021.12.004	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 山本貴和子
2. 発表標題 アトピー性皮膚炎診療ガイドラインー日常診療で生かすポイント
3. 学会等名 第57回日本小児アレルギー学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kiwako Yamamoto-Hanada, Yukihiro Ohya, et al.
2. 発表標題 Developent of educationi program for off spring allergy during pregnancy-pilot sutudy
3. 学会等名 The ACAAI 2019 Annual Scientific Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本貴和子
2. 発表標題 第66回日本小児保健協会学術大会
3. 学会等名 シンポジウム5 研究や活動を通してアレルギー予防に成功した事例の紹介(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本貴和子、齋藤麻耶子、大矢幸弘
2. 発表標題 アレルギー疾患児をもつ養育者を対象としたアレルギー予防に関する意識調査
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本貴和子、齋藤麻耶子、二村昌樹、大矢幸弘
2. 発表標題 アレルギー疾患児をもつ養育者を対象としたアレルギー予防に関する意識調査
3. 学会等名 第20子ども健康科学会学術大会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	犬塚 祐介 (Inuzuka Yusuke) (30811939)	国立成育医療研究センター・アレルギーセンター	
研究協力者	齋藤 麻耶子 (Saito-Abe Mayako) (00815011)	国立成育医療研究センター・アレルギーセンター	
研究協力者	大矢 幸弘 (Ohya Yukihiro) (80392512)	国立成育医療研究センター・アレルギーセンター	
研究協力者	左合 治彦 (Sago Haruhiko)	国立成育医療研究センター・周産期・母性診療センター	
研究協力者	赤石 理奈 (Akaishi Rina)	国立成育医療研究センター・周産期・母性診療センター	
研究協力者	春名 めぐみ (Haruna Megumi)	東京大学大学院医学系研究科・母性看護学・助産学分野	
研究協力者	松原 愛 (Matsubara Ai)	東京大学大学院医学系研究科・母性看護学・助産学分野	3、

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------